



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 12月号 ～
令和7年12月9日発行

「令和7年 最後の月となりました」 校長 前本 大智

師走を迎え、校庭の木々もすっかり葉を落とし、冬の冷たい空気を感じるようになりました。今年も残すところわずかとなり、子どもたちが一年間の学びを振り返り、次のステップへと進む準備をする季節となりました。

今回は、11月末に2年生が取り組んだ「チャレンジ・ザ・ドリーム」についてまずお話いたします。地域の皆様や事業所の温かいご協力をいただき、子どもたちはさまざまな職場で働く体験をさせていただきました。スーパーでの品出しや接客、保育園での子どもたちとの関わり、介護施設での利用者さんへの声かけ、飲食店での調理補助など、体験の場は多岐にわたり、それぞれの現場で「働くことの責任」と「人に喜んでもらうことの嬉しさ」を直接肌で感じることができました。ご迷惑やご心配をおかけすることもあったとは思いますが、ご協力していただいた皆様方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

本体験を通して、子どもたちは「勤労の大切さ」に気づきました。働くとは単に自分のためだけではなく、誰かの生活を支え、社会を成り立たせる営みであると感じたと思います。ある生徒は「お客様に『ありがとう』と言われてとても嬉しかった」と話し、別の生徒は「時間を守ることや協力することが大切だと分かった」と振り返っていました。こうした気づきは、学校生活ではなかなか得られない貴重な体験となります。さらに、「分業の大切さ」にも目を向けることができました。社会の中では、一人ひとりが役割を担い、互いに協力し合うことで大きな成果を生み出しています。子どもたちは「一人の力ではなく、みんなの力が合わさって社会は動いている」ということを見ることができたと思います。これは、今後の学校生活にも生かせる大切な視点となると考えています。

また、この時期3年生とは、校長面接の機会を得ています。面接では、自分の進路や将来について真剣に語る姿が見られます。緊張しながらも、自分の思いを言葉にしようとする姿勢に、最上級生らしい努力と成長が感じられます。面接は、自分自身を見つめ直し、将来の目標を明確にする大切な機会になります。自分の強みや課題に気づき、次の挑戦へと進んでいける推進力になればよいと心がけています。いよいよ3年生は受験（受検）を迎えます。ここからが本当の勝負です。努力を積み重ねてきた日々は、決して裏切りません。自分の未来を切り拓くための挑戦です。困難に直面したときこそ、自分を信じ、最後まで粘り強く取り組んでほしいと思います。仲間や先生方、家族の支えを力に変え、これまで培ってきた知識と経験を存分に発揮してください。「努力は必ず報われる」とは限らないかもしれませんが。しかし「努力しなければ報われることはない」のも事実です。受験（受検）を通して得られるものは、合否だけではなく、自分を信じて挑戦した事実、最後までやり抜くことです。これこそが自分の人生を支える大きな財産となります。3年生の皆さんには、ぜひこの試練を乗り越え、自分の未来を切り拓いてほしいと強く願っています。

師走は一年の締めくくりであると同時に、新しい年への準備の時期でもあります。3年生は、自分への挑戦を、2年生は、最上級生になる自覚を、そして1年生は次の学年への基礎と先輩になる心の準備を、それぞれ胸におきながら過ごしてほしいと思います。寒さが厳しくなる折、どうぞ健康にご留意いただき、よい年をお迎えください。保護者の皆様、地域の皆様、には、今年一年、子どもたちの成長を温かく見守り、支えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。来年も引き続き、学校と保護者の皆様、地域の皆様が手を携えながら、小岩五中の子どもたちの未来を育んでいければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。